

令和3年2月28日

スタッフ各位

株式会社 徳
有限会社ノリックス・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

昨年2月に発生したコロナ禍もはや1年を過ぎようとしています。発生した当初は誰もがここまで長く続くとは予想しなかったことでしょう。「世の中はいつ何が起こるかわからない」というのは言い古された言葉ですがこの1年を振り返ると実感するこの頃です。

私は仕事を終えてから天王寺の老舗の某居酒屋によく立ち寄ります。食事も美味しくて値段も安いので一人でもとても利用しやすいお店です。その店でひとりお酒を飲みながらふと考えます。「この店はどうして何十年も続いているのだろうか？」その店の料理は安くて美味しいけどよくある一般的なものばかりで周りにも美味しいお店はたくさんあります。

つまりそこで提供される料理というのはその店の「一部分」に過ぎなく、今の繁盛は毎日の積み重ねがあったからだと思えます。過去何十年お店が続いていても毎日の積み重ねが悪ければ来年にお店があるという保証はありません。

就業時間になると「お客様今日もありがとうございました。ラストオーダーですが何か注文はございますか？」と店員さんの優しい微笑みと同時に発せられる心のこもったおもてなしの言葉に商売の基本を忘れない姿勢を強く感じることができます。コロナ禍の中で様々な価値観が変わっていく中でも「いま」が綿々と繋がっていく「原理原則」は変わりません。明るい未来も、暗い未来も「いま」の積み重ねの先にあります。

私たちは「いま」にしっかりと向き合って商品とサービス、人格を磨いていくことの大切さをコロナが気づかせくれたと感じる今日この頃です。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々